



檜小だより

檜原学園檜原小学校



10月号

令和6年度

10月1日(火)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

話し合い活動を通して、自発的・自治的な態度を育む

校長 下川 耕史

7月号の巻頭言で、教員が学校で行っている研究活動についてお知らせしたところ、学校評価で「とても興味があるので、可能な範囲で研究されていることや研究成果を保護者にもぜひ紙面などで発表していただけますと幸いです。」という意見をいただきました。学校では、教師が教育活動及び学校生活を通して、児童にとって「必要な力」「伸ばしていきたい力」を考え、どのような手立てを工夫すれば育ていけるかを、毎年テーマを決めて「校内研究」という形で、研究・実践しています。

2年前までは、算数科において児童が「自ら考え、表現することを通して、確かな学力を育成する」ための研究を行っていました。授業の中で問題提示などの「山場」を作り、児童の問いを引き出すことができれば、児童が「自ら考え、表現する」ことができるだろうというものでした。「自ら考え、表現する」とは、児童が主体的に問題や課題に向き合い、解決していこうとする態度です。算数という教科は、解決へ至る道筋はたくさんありますが、ゴールが明快であるため、検証がしやすく、研究を進めやすい部分がありました。先生方はめきめきと力をつけ、そして懸命に取り組んだ成果として、算数科だけでなく、他の教科の授業でも子供たちを主体的に学びに取り組みさせる手ごたえを感じ始めていました。そこで、より子供たちそれぞれが主体的に考え、協働して解決、表現できるよう支援していけることを目指そうと目を付けたのが、特別活動です。これまでの流れも含め、テーマは「自発的・自治的な態度を育む指導の工夫～話し合い活動を通して～」となりました。

特別活動で育成すべき資質・能力は「人間関係形成力」「社会参画力」「自己実現力」ですが、いずれも他者との関わりなくしては成立しません。他者との関わりは話し合いを通じたコミュニケーションの中で生まれることが多いものです。課題に自発的・自治的に取り組む姿勢は、学級会などの話し合い活動でしっかりと役割を果たし、建設的に合意形成をしていく中で磨かれていくはずで、また、そうして培われた「自発的・自治的な態度」は、特別活動のみならず、他の学習や、本人の生き方そのものにも大きな影響を与えるはずで、

実際に特別活動の研究に取り組んでみると、特別活動は「児童の、児童による、児童のための活動」である部分が多いため、子供たちが大変生き生きとし、学校全体が活気づいていくのを感じました。児童が他者を意識して、そこに起爆剤となる問題を投げ込むと、児童は柔らかな頭でどんどんアイデアを出そうとしてくれます。これが楽しくないはずがありません。

先日9月24日(火)には、3・4年生が「中学年で仲良くなれる活動を考えよう」という議題で合同の学級会を開きました。事前に司会グループの子達が、話し合いを予想して活動計画を立て、上手に話し合いを進めました。3年生も4年生も、お互いに仲良くなれるようにと意見を出し、検討しました。このような活動が活発になってきており、例えば2年生も、他学年を中休みに招待して、自分たちが企画・運営する「おもちゃランド」で遊んでもらう企画を立てて近々実施するなど、広がりを見せております。



(お知らせ)「西多摩郡連合音楽会」(会場：秋川キララホール)：対象児童 第3～第6学年 について

令和6年11月8日(金)開催予定の西多摩郡連合音楽会では、保護者の皆様の参観が可能です。御多用のこととは存じますが、是非、子供たちの活躍の様子を御覧くださいようお願い申し上げます。

10月の生活目標

みんなで協力して活動しよう！

今月から来月にかけて、校外学習や福祉施設との交流が多く予定されています。また、11月8日には連合音楽会があり、校内では熱心に取り組む子供たちの姿を見かけるようになりました。行事への準備や練習を通して、子供たち同士が関係性を深め、協力することの良さ、みんなで一つのことを作り上げる素晴らしさを感じていければと思います。

また、子供たち一人一人が目標と自覚をもって取り組んでいけるよう、支援していきたいと思います。



生活指導担当

バードカービング

1学期から4回に渡って制作してきたバードカービングが、ついに完成しました。木型を丁寧に紙やすりで削ったり、細い筆で一枚一枚羽を描いたりとは細かい作業でしたが、講師の水上先生と一緒に、楽しんで活動することができました。

このバードカービングでは、檜原村で見られる鳥をテーマに作品作りを行いました。自分の作った鳥を檜原村で見ることができたら嬉しいですね。一生懸命作った作品は、一人一人にとっての宝物になりました。子供たちにとって、忘れられない小学校の思い出になったのではないかと思います。



5年担任

日光移動教室

スローガン 「考動」

9月4日(水)～6日(金)までの3日間、日光移動教室に行ってきました。スローガンの通り、自分で考え行動する姿が多く見られました。また、宿の方や運転手さん、その他の関わった方にも進んで声をかけ、良い雰囲気の中で移動教室を終えることができました。14名全員での思い出が一つ増え、また一回り成長したように思います。今後もこの経験を生かし、生活できれぱと思います。



6年担任

TGG 訪問

9月20日(金)、4年生はお台場の青海にある、TGGに行ってきました。この施設は日常から離れ、海外をイメージして作られた街並みの中でいつもと違う環境の中、グローバルな世界を体験することができる施設になります。到着後はTGGのスタッフの方と一緒に様々なミッションに挑戦します。

一日、英語とジェスチャーの世界でコミュニケーションをした4年生の6人は全てのミッションをクリアして自信にあふれた笑顔で、ホテルのディナーを注文できた話やドラッグストアで買い物できた話を語ってくれました。



4年担任

道徳授業地区公開講座・伝統芸能

26日(土)に檜原学園道徳授業地区公開講座が開かれます。各学年による道徳の公開授業に加え、今年度は講師をお招きし、ホールにて講演会が行われます。加えて、郷土芸能鑑賞教室では、上元郷地区の皆さんによる「神田囃子」も体育館にて披露されます。ぜひご来校下さい。

授業公開(各教室) 2校時 9:15～10:00
講演会(ホール) 3校時 10:05～10:50
郷土芸能鑑賞教室 4校時 10:55～11:40
(体育館)

道徳担当

学園研究授業

9月11日(水)に、3年生では総合的な学習の時間の研究授業を行いました。テーマは「檜原村を紹介しよう」です。1学期におもちゃ美術館の見学に行き、おもちゃ美術館の方々は「檜原村を日本一の木のおもちゃの村にしたい」という思いを持っていることを知りました。それを受けて、子供たちは「檜原小学校を日本一木のおもちゃが好きな学校にする」ことで、おもちゃ美術館を応援したいと考えました。当日は、キャンディーチャートという思考ツールを使って、どんなことをすれば日本一木のおもちゃが好きな学校にできるか、活発に話し合う姿が見られました。学園全体として、子供たちが自分の考えを広げたり、深めたりする手だてとなる、「思考ツール」の活用などについて研究をしています。